

令和元年度 みやぎっ子ルール推進優良活動団体 取組紹介

【保育所・幼稚園部門】

1 川崎町立かわさきこども園

取組名 「早ね・早おき・朝ごはん」 今日元気なかわさきっ子

<取組の内容>

年間を通してお昼寝前の絵本や紙芝居の読み聞かせや体を動かす運動の実践と全体集会活動を行っています。また、JAみやぎ仙南・柴田農林高川崎分校・川崎町幼児教育課等と連携し、にこにこ農園で高校生と一緒に苗植えをしたり、その他いろいろな野菜の栽培と試食をしたりする食育活動を行っているほか、世代間交流会や親子学級の開催、家庭教育学級を通じた家庭啓発を行っています。

<取組の成果>

絵本の時間を楽しみに待ったり、気に入った絵本を自分で選んだりする姿が多くなりました。また、栽培活動等を通じて食べ物への関心をもち、苦手な野菜を食べようとする姿が見られるようになり、食べ物と体の関係に興味関心が高まっています。また、歯磨きの大切さについて気づき積極的に歯磨きしたり歯ブラシの交換をしたり、フッ化物洗口を熱心に行っています。さらには、主体的に園庭の固定遊具に挑戦するなど、日常的に体を動かす遊びを取り入れることで以前より体力の向上を実感するとともに、多様な世代との交流活動を通して、他者との関わりを楽しむ姿が見られるようになりました。

2 石巻市立住吉幼稚園

取組名 めざせ！元気もりもりヒーロー

<取組の内容>

JA 石巻の協力でバケツ稲に取り組んだり、園で栽培した野菜でシチューやカレー、スイートポテト等を調理する体験を行っています。栽培活動は、生長観察や栽培物を使った製作遊び、様々な行事等において、子供たちの発想を生かした遊びへと発展させています。また、保護者対象に県東部保健福祉事務所、石巻市健康推進課の栄養士と連携して食育講話を実施したり、家庭に園の取組や食に関する情報を発信しています。さらに、「もりもりタイム」を設定し、運動の量と質の向上につながる遊びを取り入れて体力向上を図っているほか、保育に園外への散歩を取り入れ、身近な自然にかかわりながら公德心も養っています。

<取組の成果>

食育活動では見る・触れる・嗅ぐ・食べる・聞く等の五感を使って体験ができ、野菜や料理の食材についての関心が高まりました。野菜が苦手な子供も自分が育てて調理した野菜を喜んで食べるようになり、家庭で食べ物への関心を持って進んで食べる子供が増えています。また、「もりもりタイム」を中心とした遊びの工夫により、達成感を味わいながら意欲的に遊びを楽しむ子供の姿が見られるようになりました。園外への散歩では回数を重ねるうちに距離を延ばして歩けるようになり、散歩先での新しい遊びを楽しみながら、異年齢との交流も生まれています。

【保育所・幼稚園部門】

3 大崎市立古川西保育所

取組名 元気いっぱい 笑顔あふれる 西保キッズ (*^。^*)

<取組の内容>

「はやね・はやおき・あさごはん体操」の実践や、ルルブル・エコチャレンジ事業に取り組み、園だよりを活用して「ルルブル」啓発に取り組んでいます。食育活動では入所時に生活調査や食事調査をしていくことで、入所当初から家庭と連携しながら、バランスよく食べること等の食育指導を行っています。また、丈夫な体作りのために裸足保育の実践や発達に応じたリズム遊びに取り組んだり、近隣の公立保育所、小学校、高校との連携により、いろいろな人とのふれあい・交流活動に取り組んでいます。

<取組の成果>

体操を毎日取り組んでいることで、子ども達も歌を口ずさみ家庭にも浸透し、個人面談やおたより等で早く寝ることの大切さを繰り返し伝えていくことで意識して早寝を心がけてくれる家庭が増えています。また、「自分達で育て収穫した野菜を使って料理する」というクッキングの経験により、普段、苦手な野菜を食べない子どもも残さず完食する姿が見られ、食べ物と体の関係に興味をもち、苦手なものでも食べようとする姿が見られるようになっていきます。さらに、市内の3保育所の子ども達と交流会では、初対面では緊張していたが少しずつ慣れ、いろいろな人に親しみをもって接することができるようになっていきます。

4 登米市立よねやま保育園

取組名 「元気に遊ぶ 喜んで食べる しっかり眠る」すくすく育つ よねやまっ子！！

<取組の内容>

ルルブル紙芝居「みんなげんきにな～れ！」や、エコチャレンジポスターを活用してルルブルの実践に取り組むとともに、食育活動では地域のボランティアさんと一緒に畑の栽培活動やクッキング、収穫祭を行ったり、栄養士による箸の持ち方や、保護者指導として飲料の中に含まれる砂糖の含有量などの栄養指導を行っています。さらに、遊びの工夫として、保育参観時に「親子ふれあい遊び」として、わらべうたやごっこ遊び等、家庭でも一緒に遊べる・活用できる遊びの紹介を行っています。

<取組の成果>

ルルブル・エコチャレンジの取組で、シールを貼ることを楽しみながら、チャレンジしたことで「食べる」「遊ぶ」「寝る」を意識して行うようになり、生活リズムの改善につながっています。また、食育では自分たちで育てた野菜を収穫する喜びを味わうことで、食への関心が高まるとともに、栄養指導では子どもたちが楽しみながら、食のマナーについて学ぶ良い機会となっています。さらに、年長児がリードし、遊びを工夫することで、異年齢児の子どもとたくさん関わって遊ぶようになり、自分たちでごっこ遊びのルールを考える等、積極的に遊ぶ姿が多く見られるようになっていきます。

【小学校・中学校部門】

5 村田町立村田小学校	
取組名	命を大切にし 夢に向かって 共にたくましく生きる児童を育てよう
<取組の内容> 生活時間チェックカードを活用し、勉強時間、睡眠時間、ゲーム時間について、一人一人が自分の目標を立て、その達成に向けて取り組み、その結果や変容を、学校だよりを通して保護者に伝え、ゲーム時間の管理や望ましい睡眠時間の確保について啓発を図っています。また、食育活動では村田町から6年生全員が食育リーダーを委嘱され、1日の生活リズムの基礎となる「朝食」をテーマに様々な活動を実施し、全校児童に、バランスのよい朝食をしっかりと取るよう啓発活動も行っています。さらに、地域の関係団体と協力のもと、幼・保・小が連携した「5・5交流（5歳児と5年生の異年齢交流）」「なかよし会（5歳児と1年生の異年齢交流）」や小中高合同の「交通安全人垣運動」などの活動を実践しています。	
<取組の成果> 児童は、自分の生活時間を見つめ直し、時間をコントロールする力が身に付いてきており、特に、寝る時刻について、1～4年生は9時まで、5、6年生は10時までに就寝するという習慣が浸透しました。また、朝食において、主食・主菜・副菜3品をそろえて食べる児童の割合が、42%から61%に増加し、児童自身が朝食をバランスよく食べることを意識するようになってきています。さらに、幼稚園・保育所の幼児、中学校・高等学校の生徒、地域の方々とのふれあいを通して、思いやり、いたわり、相手意識、やさしさ等の人間性が豊かに育ってきており、挨拶や笑顔という形で学校や地域での生活にも生かされてきています。	
6 利府町立菅谷台小学校	
取組名	心も体も元気で楽しい学校づくり
<取組の内容> メディアコントロールチャレンジにより、児童が自らゲームやスマホ等の利用時間の抑制に取り組むとともに、「脳の朝ごはん」紙芝居や、オリジナルの健康体操である「菅小ルルブル体操」を実施しています。また、利府町志教育「スクールシップ」「ブラザーシップ」「キャリアシップ」「チャイルドシップ」「コミュニティシップ」を有効に活用しながら、地域や家庭と協働して、食育や保健活動、体力向上活動、交流学习等に取り組むことを心掛けています。	
<取組の成果> 児童が設定した目標を家族全体で取り組む家庭が増え、寝る時間が早まり、外遊びが増えています。また、食育の授業や保健指導により栄養バランスのとれた食生活の大切さを理解し、給食時での実践意欲が向上するとともに、保護者が我が子の食生活を見直すことにつながっています。さらに、利府町志教育では異学年や異世代との交流により、思いやりをもって人と接する児童の姿が学校生活全般で見られるようになっていきます。	

【小学校・中学校部門】

7 加美町立西小野田小学校

取組名 ワクワク ルルブル ふれあいはあとの西小っ子

<取組の内容>

家庭と連携して、月に一度、一週間の『はやね・はやおき・あさごはん・はみがきチャレンジカード』に取り組み、規則正しい生活習慣を啓発するとともに、学期ごとに早起きやゲームの時間等に関する生活習慣アンケートを実施して状況把握に取り組んでいます。食育活動では、地元の農家の方々をゲストにお招きし、地場産給食の試食を行ったり、給食委員会の児童が、毎日の給食のメニューと栄養素の分類について掲示し、児童が給食について興味を持つよう働き掛けるなど、望ましい食習慣及び食生活の定着促進を図っています。さらに、「西小グランプリ」を実施し、全校児童を赤組、緑組、青組、黄組の4組に分け、体育的行事や縦割り朝会、業間活動などの取組を得点化し、各組で競わせて、体力向上に取り組んでいます。

<取組の成果>

チャレンジカードの提出人数を保健室前に掲示することで、取り組む児童の意欲及び保護者の意識が高まっています。また、地場産給食を通じて、地元ではどんな食材が作られているかということに関心を持つようになり、生産者の方へ感謝の気持ちを持ったり、苦手な食材の克服をしたり、残さず食べようとする姿が見られるようになっていきます。さらに、「西小グランプリ」は1年を通じた取り組みとして、一人一人の頑張りが得点に結び付くようにしたことで児童が意欲的に活動するようになり、児童の体育的活動に対する意欲を高め、異学年や友達との交流を深めたり、競争心を高めたりすることにもつながっています。

8 石巻市立鮎川小学校

取組名 鮎小っ子 元気計画プロジェクト

<取組の内容>

鮎小っ子けんこうカウンセリングアンケートの実施により、生活習慣を詳しく把握し、改善に向けた取り組みを推奨しています。また、歯の健康を重視して歯科衛生士によるブラッシング指導や歯磨きカレンダーを活用するとともに、栄養教諭の講話による食育指導を行っています。さらに、年間を通じた朝の体力づくりとしてラジオ体操や Web 縄跳びに取り組むとともに、地域の関係者の協力を得ながら、網地島サマーキャンプや牡鹿の伝統文化体験学習を行っています。

<取組の成果>

鮎小っ子けんこうカウンセリングアンケートにより全校児童の起床・就寝時間を掲示することで、子供同士で自分や友達的生活習慣について確認し合い、自ら改善しようとする姿も見られるようになりました。また、食べ物を美味しく食べるために大切な口の健康を守ろうという児童の意識向上につながるとともに、給食残食量が減り、好き嫌い無く給食をしっかり食べていることができています。さらに、意図的に朝に運動する場を設定したことで進んで体を動かす児童が多くなり、Web 縄跳びは常に県内10位以内にランキングされ、子供たちが自主的に練習する姿が見られています。そして、震災の影響もあり児童のほとんどが海水浴や釣りの経験が無かったが、網地島サマーキャンプを通して海での遊びの楽しさを味わうことができました。

【小学校・中学校部門】

9 東松島市立矢本東小学校

取組名	基本的な生活習慣を身に付けよう
-----	-----------------

<取組の内容>

生活習慣チェックシートを活用し、はやね・はやおき・あさごはん・あいさつ・がくしゅう・じゅんぴ・ゲームなど1日の合計時間について目標を持って取り組んでいます。また、保健委員会の児童が業前活動の時間を利用して、各学級を巡回しルルブル紙芝居の読み聞かせを行っています。さらに、朝の昇降口にて担当児童が立ち、あいさつ運動を実施するとともに、矢本中央幼稚園との連携により、地域の公園や公共施設等に赴き、ゴミ拾いを行っています。

<取組の成果>

生活習慣チェックシートでは保護者と児童と一緒に目標を立てて取り組むことで、児童だけでなく保護者への啓発も図るとともに、年4回実施することで、長期的・継続的に生活習慣を見直し、規則正しく生活することへの意識付けを図ることができています。また、紙芝居の読み聞かせではルルブルに関して、それぞれの意味について内容を理解することができました。さらに、東松島市内の小中学校で取り組んでいる「心あったかイートころ運動」の浸透・定着もあり、児童たちは元気よくあいさつを交わり、ゴミ拾いにおいては地区清掃日に幼稚園児との交流も行うなど、児童が主体的に活動できるようになっています。

10 丸森町立大張小学校

取組名	チャレンジ大張っ子
-----	-----------

<取組の内容>

「保健チェック」では、保健委員会が中心になり、「早寝」の推進に取り組んでおり、低学年は9時、中・高学年は9時半までに就寝することを目標とするとともに、毎週水曜日をチャレンジデーとして、早寝・早起き・朝ごはん・音読とメディアの視聴時間のコントロールに取り組んでいます。食育活動では、栄養教諭が各学年の発達段階や児童の実態に合わせて授業を実施しています。また、和太鼓演奏は地域の関係者の協力を得ながら、人とかかわる体験活動として、総合的な活動の時間で実施しています。

<取組の成果>

夜更かしする児童がほとんどなく、全員が目標時刻までには就寝しようと生活を見直しており、特に「保健チェック」を実施する期間は、全員が目標とする時間に就寝することができています。また、朝ごはんをきちんと食べるようになったり、少しずつでも食べるように努力したりするなど、摂取量等に変化が見られ、栄養の基本である三大栄養素についての理解も深まり、給食全体のバランスを意識して偏りなく食べようとする姿も多くみられるようになってきています。さらに、和太鼓演奏の活動では、大張児童館の夏祭りや大張地区敬老会での演奏依頼を受け、地区の方々や児童館の児童のために精一杯演奏することにより、子供たちの自己有能感を高めたり、達成感を味わったりすることができました。

【小学校・中学校部門】

11 塩竈市立玉川小学校

取組名 新しい時代を「拓く」、元気でたくましい児童を目指して！

<取組の内容>

ルルブルチェックを学期に1回、期間を1週間として実施しています。PDCA サイクルで、反省を基に学校課題の解決に役立てるとともに、睡眠についての保健指導を実施しています。食育活動では、市の栄養士による栄養指導を行い、給食の残食の減少に取り組んでいます。また、むし歯の治療指示は年に複数回実施し、ダイヤモンド賞やホワイト賞などの表彰を行っています。また、体力向上の取組として「玉川 10 種目」を実施し、玉川ギネスなど記録を紹介して意欲喚起を図っています。

<取組の成果>

家庭の意見などを反映させながら、ルルブルチェックを改善することで、それぞれのライフスタイルを加味しながら、規則正しい生活の習慣化が図られています。また、市の栄養士の話聞き一緒に給食を食べることで、残食児童が減ってきているなど意識が高まっています。さらに、各種体力向上の取組により進んで外遊びをする児童が増え、体をたくさん動かすことで、早寝の習慣の定着が図られています。

12 気仙沼市立月立小学校

取組名 強い心と体で月立っ子パワー全開！

<取組の内容>

学期に一度、「はやね・はやおき・あさごはんキャンペーン」を長期休みの直後に実施し、休みでゆるんだ生活リズムを見直して学習に向かう心と体に整えるとともに、家庭と連携して規則正しい生活習慣の定着を図っています。食育活動では、地域の方を講師に野菜の栽培と収穫を行い、それらの野菜を使って料理を作ります。それを地域の方と一緒に食べることによって、和やかに食事をする楽しさを味わわせ、望ましい食習慣の形成に努めています。体力向上の取組では、地域の関係者の協力を得ながら早稲谷鹿踊りを実践し、リズム感や調整力、筋力の向上を図るとともに、一つのものをみんなで作り上げる楽しさを味わわせることで、粘り強く努力する心情を育てています。さらに、登・下校時に、一人一人が職員室で元気にあいさつをし、上級生が下級生に手本を見せることによって明るい挨拶の仕方を身につけています。

<取組の成果>

「はやね・はやおき・あさごはんキャンペーン」を家庭と連携して実施することにより、児童と保護者によりよい生活習慣について意識させることにつながっています。食育では、野菜を育てる人々の苦勞を知ることによって苦手な物でも食べようとする意欲や食べ物への感謝の気持ちをもつようになりました。また、食を通して異学年や異年齢との交流を行うことで、人と関わることの喜びを感じ、会食の楽しさを味わうことができます。さらに、早稲谷鹿踊りは年間を通した活動であり、強い心と体づくりに役立ち、職員室でのあいさつ活動は、自分から進んで気持ちのよい挨拶をすることでみんな笑顔になり、楽しい学校生活を送ることができています。